

「南丹市」に誇りと愛着を持って、それぞれの夢に向かって努力をし、豊かな人生を歩んでください」と式辞を述べた後、南丹市より記念品として「織部飛ばしペアピアカップ」を出席した新成人に贈りました。

また、新成人を代表して美馬奈穂子さんが「お互いの絆を大切に、夢と希望に向かって一歩一歩進んで行きたい」と成人となった抱負と決意を述べました。

二部ではアトラクションとして、新成人が生まれた昭和六十一年から現在までの二十一年間に起こった出来事をまとめたビデオが上映され、当時に流行したのものや、社会の動きなどに、参加者らは自分の幼いころを懐かしんで見えました。

三部では、参加者が七班に分かれて記念写真の撮影を行い、その後は各地域ごとに懇親会の場を設け、友人との久しぶりの再会を喜び合う姿や、恩師らと思い出話をするなど、会場はすがすがしい笑顔があふれていました。

二十歳の決意を新たに記念撮影



▲記念撮影（美山町）

日本一のイタリアンシェフを目指して、修行の毎日です。将来は日本を代表するような料理人になるのが夢です。



増田 純平さん（日吉町）

ブライダルコーディネーターになるために学校に通っています。人のために、何か役立つような仕事ができる人になりたいです。



吉田 香澄さん（美山町）

